

希望の鐘の音

2022・12月号

～県立病院としての大槌病院と 大槌町にある大槌病院～



副院長 黒田 継久

大槌病院に勤めて約29年になりました。始めの頃は東京で行われている糖尿病治療は大槌でも行うという意気込みでいましたし、患者さんは県立病院で病気を治すための質の高い医療を受けたくて来ていると思っていました。

20年ほど前、胃潰瘍の見つかったおばあさんがいました。「おばあさん、おなか痛くなったの？」と聞いたところ「痛かったけどいつも聴診器を当てて診察してくれるので分かったでしょ。」と言われ聴診器は心臓の音を聞いているだけなので、胃が悪いかは分からないのだけれどと思いました。

しかしもう一度考えてみてこの方は病気を治してもらいたくて来ているのではなく診察に入れば自分の体をすべて分かってもらえる、長生きさせてもらえるとってきているのではないか、県立病院に病気を診てもらいたくて来ているのではなく家庭医として長生きさせてくださいとってきているのではないかと考えを改めるようになりました。

それからは病気を治すのではなく、目の前に来た患者さんが長生きするには何をしたら良いかを考えるようにしています。

これからも大槌病院に通っていて良かったといわれる診療を目指していきたいと思えます。

薬剤科の紹介

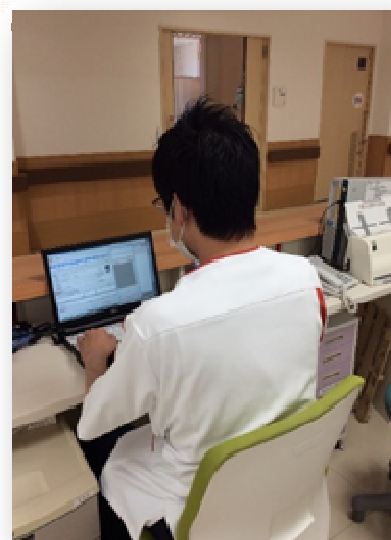
調剤室

錠剤、散剤分包装機により、患者に合わせた調剤を行っています。クラスII安全キャビネットによる抗がん剤などによる医療被曝対策に高い注射薬調剤が可能です。ジェネリック医薬品の積極的導入をすすめており、患者負担の軽減に取り組んでいます。



病棟業務

持参薬鑑別や、相互作用の確認、服薬指導などを中心とし、患者のケアに取組みます。また、血液検査など各種検査結果を含め、副作用の確認、薬効の評価も行っています。退院前には看護科と生薬環境や服薬管理方法について、患者に合わせた検討を行っています。退院時にはほぼ全ての患者に指導を行っています。



薬剤科基本方針

患者さんの人権に配慮し、納得する薬物療法の支援・提供に努めます。

医薬品の安全管理と適正使用に努め、良質な薬剤業務を提供いたします。

健全経営を目指し、医薬品の適正使用・管理に努めます。専門職としてチーム医療に貢献し、質の高い薬物療法を提供します。

住民の安全な医療の為に地域の医療関連施設との連携に努めます。

高度化する医療に対応すべく自己研鑽に努めます。

看護科の紹介

大槌病院看護科では【笑顔で笑顔を引き出す看護を提供します】を基本理念としており、令和4年度は、2つの目標に沿って活動しております。

1つの目標は、『倫理的視点を高め、効率が良く質の高い看護を提供します』であり、入退院支援の運用強化と地域包括ケア病棟の有効活用による地域連携を推進、PNSマインドの醸成、更に新型コロナウイルス感染症防止対策を主に、院内感染予防対策の徹底に努めて参ります。

2つめの目標は、『看護職員の負担を軽減し、働き続けられる職場環境づくりに努めます』で、WLBの充実、コンプライアンスの推進をすすめて参ります。

大槌病院看護科基本理念

【笑顔で笑顔を引き出す看護を提供します】

令和4年度大槌病院看護科目標

- 1.倫理的視点を高め、効率が良く質の高い看護を提供します
 - 入院患者安置の運用強化と地域包括ケア病棟の有効活用による地域連携の推進
 - 院内感染予防対策の徹底
 - PNSマインドの醸成
- 2.看護職員の負担を軽減し、働き続けられる職場環境づくりに努めます
 - WLBの充実
 - コンプライアンスの推進

地域連携を引き続き推進していくために、前方支援や入院前支援も充実させたいと考えています。これにより、レスパイト入院や早期受診勧奨を促し、穏やかな療養環境の提供と介護負担の軽減にも繋げて参りますので、気軽にご相談ください。

病院内では、より良い職場環境作りの為、研修会でいただいた言葉をアレンジして活用して参ります。

『ありがとう』『うれしい』『助かる』の魔法の言葉をスタッフ同士で声掛け合い、笑顔の多い職場をつくり、患者さんの笑顔も引き出していきたくと考えております。

職場環境が劇的に良くなる！魔法の言葉…

「ありがとう」
「うれしい」
「助かる」

この言葉を発する場面は日常（特に家族関係・同僚関係）の中で、積極的に使っつけて、「声に出して使っていく」
「恐れや怒りの反応をためずに使っていくことが重要。」「自然に」「あたりまえに」なるまで意識していく

しかしながら、先が見通せないコロナ禍ですので、こころの疲労の積み重なりが心配されます。

こころの健康作りのはじめの一步として『こころに優しい日常生活の過ごし方』をおすすめします。

『こころのセルフケア』でストレスから自分を守っていきましょう。

新型コロナウイルスもご心配のみなさまへ

こころのセルフケア
ストレスから自分を守ろう

こころに優しい日常生活の過ごし方

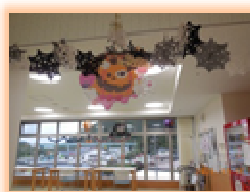
- 決まった時刻に起きる
- 外出できない場合は2時間は窓際で過ごす
- 「3密」を避けられるなら一定時間野外で過ごす
- 日課を設定する
- 毎日同じ時間に食事する
- 電話などで人とコミュニケーションを取る
- 30分を超える暗闇や、夜間にスマートフォンなどの光を浴びるのを避ける

岩手県立南光病院 認定看護師部会

【アクティビティケアの様子】

入院病棟では・・・

高齢及び、認知機能低下の患者さんに、集団・個別での、全身を動かす体操、嚥下機能を改善する（運動や、飲み込みに関連する機関の筋肉を動かす等）体操、各種アクティビティを企画・実施し、日中の離床時間を設け、日常生活に近い状態で療養できるように取り組んでいます。



【地域包括ケア病床】

平成30年10月から、地域の患者さんやご家族が、安心して生活できるようにする為の、リハビリを中心に行う「在宅復帰を支援する為の病床」地域包括ケア病床（現在30床）を開設して取り組んでおります。

主に下記の様な患者さんを対象にしております。

★患者さんが急性期病院から在宅復帰までの間に自宅の環境が整う間

★もう少しリハビリを行い、在宅復帰を目指したい

★自宅で介護している方の疲労を回復するまでの間患者さんを入院させたい

入院の相談には、退院調整看護師が対応致します。お気軽にご相談ください。

【退院前・退院後訪問の充実】

患者さん・ご家族の、希望に合った退院後の生活を実現するために、入院早期から複数回、ご家族やケアマネージャー、理学療法士等と共に、退院前カンファレンスを実施しております。また、毎日の多職種カンファレンスで患者さんの情報を共有し退院に向けて退院前訪問や退院後訪問を行い、患者さん・ご家族に寄り添った看護を行っております。

岩手県立大槌病院

岩手県上閉伊郡大槌町小槌第23地割字寺野
1番地1

TEL 0193-42-2121

FAX 0193-42-3148

番号 第12号
発行日 令和4年12月22日
発行 岩手県立大槌病院
地域医療福祉連携室